

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札
 コード番号 3849 URL http://www.ntl.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 泳成
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 鈴木 孝男 (TEL) 03-5276-2810
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	441	45.1	△38	-	△37	-	△24	-
27年3月期第3四半期	304	△14.8	△53	-	△52	-	△34	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	△30.18		-					
27年3月期第3四半期	△43.84		-					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,050		860			82.0
27年3月期	1,064		885			83.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 860百万円 27年3月期 885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700	29.0	58	147.1	60	139.7	35	96.0	43.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり予想当期純利益(通期)は、予想期中平均株式数をもとに計算しています。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	848,000株	27年3月期	848,000株
28年3月期3Q	50,300株	27年3月期	50,300株
28年3月期3Q	797,700株	27年3月期3Q	797,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
 今期の配当につきましては、先行きの業績見通し等を踏まえて判断するため、現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます、業績の進捗等を見極めた上で配当予想が決定次第、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 研究開発費の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、売上高が増加し、損失は減少しました。理由は、収益率の高い製品売上高が大幅に増加したためです。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は441,851千円（前年同四半期比45.1%増）、営業損失は38,583千円（前年同四半期営業損失は53,267千円）、経常損失は37,451千円（前年同四半期経常損失は52,182千円）、四半期純損失は24,075千円（前年同四半期四半期純損失は34,968千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、主に産業用インクジェット・プリンタ制御ソフトウェア(*1)、広巾長尺プロッタ制御ソフトウェア(*1)、ポストスクリプト・ラスターライザ(*2)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、売上高が増加し、利益も増加しました。理由は、受託開発売上高および保守売上高は減少したものの、収益率の高い製品売上高が大幅に増加したためです。

その結果、売上高は219,683千円（前年同四半期比80.2%増）、利益は65,081千円（前年同四半期比63.2%増）となりました。

(ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、主に可搬型記憶媒体システム(*3)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、売上高が増加したものの、損失が増加しました。理由は、商品売上高および製品売上高は増加しましたが、受託開発売上高および保守売上高が減少したためです。

その結果、売上高は38,408千円（前年同四半期比8.2%増）、損失は14,154千円（前年同四半期損失は11,840千円）となりました。

(セキュリティ事業)

当事業におきましては、主にセキュリティプリントシステム(*4)および統合監視映像システム(*5)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、セキュリティプリントシステム部門および統合監視映像システム部門の両部門におきまして、売上高が増加したものの、販売費および一般管理費の増加により、セキュリティプリントシステム部門におきましては利益が減少し、統合監視映像システム部門におきましては、損失が増加しました。

その結果、売上高は147,742千円（前年同四半期比25.8%増）、損失は16,743千円（前年同四半期損失は8,950千円）となりました。

(ビジネスソリューション事業)

当事業におきましては、主に顧客のニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守業務を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、売上高が増加したものの、利益は減少しました。理由は、受託売上高が増加したことにより、販売原価が増加したためです。

その結果、売上高は36,017千円（前年同四半期比21.3%増）、利益は4,764千円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産合計は694,032千円と前事業年度末に比べて25,630千円減少しました。減少した主な要因は、現金及び預金が54,535千円、商品及び製品が25,405千円、繰延税金資産が13,371千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が87,456千円、仕掛品が33,673千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産合計は356,169千円と前事業年度末に比べて11,211千円増加しました。増加した主な要因は、保険積立金が14,569千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債合計は121,431千円と前事業年度末に比べて12,284千円増加しました。増加した主な要因は、未払金が27,328千円、未払法人税等が9,458千円、未払消費税等が9,736千円減少しましたが、買掛金が35,854千円、未払費用が3,278千円、前受金が19,058千円増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債合計は68,031千円と前事業年度末に比べて2,316千円減少しました。減少した主な要因は、長期未払金が2,166千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は860,739千円と前事業年度末に比べて24,387千円減少しました。減少した主な要因は、四半期純損失の計上等により利益剰余金が24,075千円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、製薬業界向け錠剤印字システム（ジェネリック薬品対応）が好調であり、来年度にかけて納品済システムにおける量産機の追加受注、ならびに、カラー化対応システムなどの受注が見込まれます。また、インクジェット・デジタル印刷は、オフィスから産業用途向け、特に大型機印刷は、印刷巾が1000mm以上のシステム案件の引合いのみならず、来期以降には、捺染印刷機や段ボール印刷機への展開が見込まれており、これらの市場に対し、積極的に営業活動を行なってまいります。

(ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、大容量・長期保存アーカイブシステムとして、Blu-ray対応、Tape対応、オブジェクトストレージ対応と、あらゆるコールドストレージシステムの提案を中心に、アプライアンスBlu-rayチェンジャーシステム(*6)で低価格帯の顧客も取り込み、新しいマーケットに向けて市場開拓を推進し、営業拡販に努めてまいります。

(セキュリティ事業)

当事業のセキュリティプリントシステム部門におきましては、前期同様、セキュリティプリントシステム(*4)、セキュリティプリントロガー(*7)を基軸とし、海外展開を目標として営業活動を展開してまいります。セキュリティプリントロガーは、他社製品に見られるログの取りこぼしが一切発生しないという検証結果のもと、地方自治体からの引き合いを多数いただき、今期中にもご採用をいただいております。VDIを利用したWEB分離環境におけるシステム対応など、さらなる機能追加を含め、製品機能と性能の向上に努めてまいります。

当事業の統合監視映像システム部門におきましては、食品メーカーや当社主要市場である公共系も年度末納品の引き合いが活発になっております。また、来年度予算計上のための予算取り案件も堅調に推移しております。当社のチャネルパートナーと連携しながら今年度納品案件をフォローし、当期の更なる売上げの獲得を目指してまいります。また、当社の強みである堅牢なソフトウェア構造と柔軟なカスタマイズ力を売りとして他社との差別化を図りつつ、来年度予算取り案件を優位に進めてまいります。

(ビジネスソリューション事業)

当事業におきましては、サービスを通じて既存顧客を積極的に維持するとともに、当社の技術、およびノウハウにより問題を解決し、顧客満足度の向上、および顧客の企業価値を高めることに努めてまいります。同時に最新の市場ニーズや動向をくみ上げ、既得技術の水平展開を図り、新規分野への参入に戦略的な意思を持って取り組んでまいります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(*1) ソフトウェア名：Mistral

(*2) ソフトウェア名：PSR

(*3) ソフトウェア名：MnemosNEXT

(*4) ソフトウェア名：SPSE

(*5) ソフトウェア名：FireDipper

(*6) ソフトウェア名：MnemosBOX

(*7) ソフトウェア名：SPSE Print Logger

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,423	464,958
受取手形及び売掛金	221,124	133,668
商品及び製品	29,242	54,648
仕掛品	43,131	9,457
前払費用	11,690	13,494
繰延税金資産	1,557	14,928
未収還付法人税等	-	2,229
1年内回収予定の長期貸付金	2,441	-
その他	341	816
貸倒引当金	△290	△170
流動資産合計	719,663	694,032
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,199	12,199
減価償却累計額	△10,301	△10,740
建物(純額)	1,898	1,458
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△9,040	△9,415
車両運搬具(純額)	998	624
工具、器具及び備品	42,374	40,854
減価償却累計額	△35,652	△35,237
工具、器具及び備品(純額)	6,722	5,616
有形固定資産合計	9,619	7,699
無形固定資産		
特許権	509	378
商標権	440	353
ソフトウェア	2,182	1,425
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	4,702	3,726
投資その他の資産		
投資有価証券	3,532	3,069
関係会社株式	21,000	21,000
出資金	10	10
差入保証金	49,385	49,385
保険積立金	252,409	266,979
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	330,636	344,743
固定資産合計	344,958	356,169
資産合計	1,064,621	1,050,202

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,626	60,480
未払金	29,311	1,983
未払費用	11,298	14,576
未払法人税等	9,458	-
未払消費税等	13,854	4,118
前受金	18,251	37,309
預り金	2,167	2,867
その他	179	96
流動負債合計	109,147	121,431
固定負債		
長期末払金	69,614	67,448
繰延税金負債	733	583
固定負債合計	70,347	68,031
負債合計	179,495	189,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	122,960	98,885
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	883,589	859,513
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,225
評価・換算差額等合計	1,537	1,225
純資産合計	885,126	860,739
負債純資産合計	1,064,621	1,050,202

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	304,526	441,851
売上原価	149,931	239,552
売上総利益	154,595	202,299
販売費及び一般管理費	207,863	240,882
営業損失(△)	△53,267	△38,583
営業外収益		
受取利息	255	671
保険事務手数料	846	718
その他	94	83
営業外収益合計	1,196	1,473
営業外費用		
支払利息	-	246
為替差損	111	49
その他	-	45
営業外費用合計	111	341
経常損失(△)	△52,182	△37,451
特別利益		
固定資産売却益	-	259
特別利益合計	-	259
特別損失		
固定資産除却損	-	36
特別損失合計	-	36
税引前四半期純損失(△)	△52,182	△37,228
法人税、住民税及び事業税	217	217
法人税等調整額	△17,431	△13,371
法人税等合計	△17,214	△13,153
四半期純損失(△)	△34,968	△24,075

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング&プリンタコントロール事業	ストレージソリューション事業	セキュリティ事業	ビジネスソリューション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	121,903	35,489	117,428	29,705	304,526
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	121,903	35,489	117,428	29,705	304,526
セグメント利益又は損失(△)	39,870	△11,840	△8,950	6,168	25,248

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	25,248
全社費用(注)	△78,516
四半期損益計算書の営業損失(△)	△53,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング&プリンタコントロール事業	ストレージソリューション事業	セキュリティ事業	ビジネスソリューション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	219,683	38,408	147,742	36,017	441,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	219,683	38,408	147,742	36,017	441,851
セグメント利益又は損失(△)	65,081	△14,154	△16,743	4,764	38,947

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	38,947
全社費用(注)	△77,530
四半期損益計算書の営業損失(△)	△38,583

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(受注状況)

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	238,673	17.4	115,477	12.6
ストレージソリューション事業	38,730	7.3	3,333	△42.2
セキュリティ事業	333,822	68.1	212,205	92.0
ビジネスソリューション事業	31,333	1.7	409	△67.2
合計	642,559	37.1	331,425	50.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 受注残高合計の内、当事業年度に売上が見込まれる受注残高は、192,144(千円)であります。

(販売実績)

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	金額(千円)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	219,683	80.2
ストレージソリューション事業	38,408	8.2
セキュリティ事業	147,742	25.8
ビジネスソリューション事業	36,017	21.3
合計	441,851	45.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 研究開発費の状況

当第3四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、70,474千円(前年同四半期比4.7%増)となりました。その内容は主に、MnemosNEXT開発、SPSE新機能開発、FireDipper新機能開発等に関する研究開発活動であります。